

様式第8（第15条関係）

受理年月日	
処理年月日	

中 長 期 計 画 書

九州経済産業局長 殿

平成 25年 7月 30日

住 所 宮崎県宮崎市大字小松 1119 番地
氏 名 一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団
理事長 大野 和男 印

（法人にあつては名称及び代表者の役職名、氏名）

エネルギーの使用の合理化に関する法律第14条第1項の規定（法第19条の2第1項において準用する場合を含む。）に基づき、次のとおり提出します。

特定事業者（特定連鎖化事業者）の名称等

特定事業者番号 （特定連鎖化事業者番号）	0040281
事業者の名称	一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団
主たる事務所の所在地	〒880-2112 宮崎県宮崎市大字小松1119番地
エネルギー管理統括者の 職名・氏名	職名 業務執行理事 氏名 東 明
エネルギー管理企画推進者の 職名・氏名・勤務地・連絡先	職名 本部事務局業務部長 氏名 古沢 賢二郎 エネルギー管理士免状番号又は講習修了番号 01-2010-3-08323 勤務地 〒880-2112 宮崎県宮崎市大字小松1119番地 電話（ 0985 - 47 - 3744 ） FAX（ 0985 - 47 - 5202 ）

計画内容及びエネルギー使用合理化期待効果

内容	該当する工場等	実施時期	エネルギーの使用合理化期待効果
夏季及び冬季の節電取り組み（平成24年対比夏季マイナス1%、冬季マイナス1%）	全施設 （潤和会記念病院、ひむか苑、宮崎リハビリテーション学院、延岡リハビリテーション病院、小規模多機能ホームマルシェ、本部事務局棟）	平成25年度	13kL/年
新規開設病棟内の照明をLED照明に転換（廊下、ナースステーション、食堂ダイニング）	潤和会記念病院	平成25年度	3kL/年
空調温度の一括管理（事務室での温度設定）	宮崎リハビリテーション学院	平成25年度	2kL/年

その他エネルギー使用の合理化に関する事項

【ソフト面】

財団全施設において、平成24年7月より9月までの3ヶ月間を「今夏の節電対策取り組み期間」として、電気使用量で22年度同期対比マイナス10%を目標とし、同年12月より25年3月の4ヶ月間を「今冬の節電対策取り組み期間」として取り組んだ。

結果、夏季はマイナス8.3%（22年度対比）、冬季はマイナス2.3%（同前）であった。

【ハード面】

潤和会記念病院においては、遮熱遮光フィルムを病棟南側ガラスに貼付した。特に夏場の空調負荷低減を図った。施工後、病室内の温度計測において最大で2.9の差が確認できた。

前年度計画書との比較

削除した計画	該当する工場等	理由
ナースステーションの照明をLED照明に転換	潤和会記念病院	病棟の改修工事にあわせて工事対象範囲を変更したため
追加した計画	該当する工場等	理由
新規開設病棟内の照明をLED照明に転換（廊下、ナースステーション、食堂ダイルーム）	潤和会記念病院	改修工事を実施するため

- 備考
- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 文字は、かい書でインキ、タイプによる印字等により明確に記入すること。
 - 3 計画書冒頭の 印を付した「受理年月日」欄及び「処理年月日」欄には記入しないこと。
 - 4 の「該当する工場等」の欄には、複数工場等が該当する場合はそれぞれの工場等の名称を記載し、全工場等が該当する場合は全工場等と記入すること。
 - 5 の「エネルギー使用合理化期待効果」の欄には、基準年度を報告年度とし、計画完了年度における年間エネルギー消費量の削減効果を記入すること。
 - 6 には、 で定量的に記載できないエネルギーの使用の合理化に向けた計画等について記入すること。また、この欄のみでは記入が困難な場合は、CSR 報告書等の関係資料を添付すること。
 - 7 には、 ・ について前年度と比較して記入すること。